

令和8年 第6回 木古内町教育委員会

議 事 録

- 開催日時 令和8年7月23日（木） 9:30-11:00
 - 場 所 中央公民館 講座室
 - 出席委員 工藤嗣美 委員、竹田光伸 委員、古城美佳 委員
西山敬二 教育長
 - 事務局 ひとつくり未来課 中村課長、寺井主査、敦澤主査、鎌田主事
 - 傍聴者 0名
-

1. 開会

木古内町教育委員会会議規則 第6条の規定により、西山教育長の宣言にて会議が開会され、進行も西山教育長がそのまま務めた。

教育長：

皆様、お集まりいただきありがとうございます。本日は急遽ご都合がつかなくなった委員もいらっしゃいますが、定足数を満たしております。それでは会議を始めさせていただきます。

2. 署名委員指名

- 今回議事録の署名委員について古城美佳 委員を指名

承 認

3. 会議録の承認について

- 事前配布された前回議事録の承認を諮り、委員から異議なしの確認

会議録（令和8年 第6回）承認

4. 教育長諸報告

教育長：

資料に基づき、主な活動をご報告いたします。

- 認定こども園の状況：7月に入り、センターにてプール開放・水遊びを実施しており、子どもたちが元気に過ごしております。
- 北海道教育大学同窓会懇親会：出席いたしました。新会長に就任された須藤先生（元木古内中学校教員）をはじめ、関係者の皆様と懇談を行いました。
- 公民館講座（7月12日）：北斗市島川小学校の長浦校長先生（女性）を講師にお招きし、南極の氷に触れる体験講座などを実施いたしました。
- 第61回北海道市町村教育委員会研究大会（7月16日）：札幌市にて開催され、4名で出席してまいりました。内容については後ほど報告事項にてお話しいたします。

教育長諸報告につきまして、ご質問等はございますか。

（「なし」との声）ありがとうございます。

5. 報告

- 議案第1号「木古内町教育支援委員会規則の改定について」
- 議案第2号「5歳児健診および就学前健診（スクリーニング検査）について」

（※関連する議題のため、事務局より一括して説明）

事務局：

議案第1号および第2号についてご説明いたします。

【規則改定の主旨（第1号）】

教育支援委員会は就学先を判定する組織ですが、従来の構成では発達度合いを専門的に判断できる専門家が不在であったため、適切な就学先（通常学級・特別支援学級・特別支援学校等）の判定に苦慮するケースがありました。

そこで、専門的な助言を得られるよう第3条（組織）を改正し、近隣の特別支援学校（七飯養護学校おしま分校等）の教員などを委員として委嘱・招き入れられるよう規定を変更いたします。

また、第7条に「情報共有部会」を新設いたします。年に1～2回の会議のみでは十分な情報共有が困難であったため、担当者間で日常的・継続的に情報交換を行える場を設けます。なお、支援委員会の判定結果を教育長へ報告する規定についても明確化を図っております。

【健診・スクリーニング検査の見直し（第2号）】

来年度からの本格導入に向け、段階的に就学前検査等の仕組みを見直します。

- 5歳児健診との連携：保健福祉課（健康管理センター）が実施する「5歳児健診」に教育委員会も全体観察・カンファレンスへ参加し、就学の1年前からの発達追跡を行います。
- 評価ツール・専門医の導入：世界的に用いられている「SDQ（子どもの強さと困難さアンケート）」を導入します。また、七飯町にある「はるこどもクリニック」の高柳先生（発達障害・乳幼児健診の専門医）にご協力いただきご承諾を得ました。
- 相談ブースの設置：健診時に教育委員会のブースを設け、保護者の就学に対する不安や手続きに関する相談に対応します。
- 客観的エビデンスの確保：必要に応じて発達検査（田中ビネー知能検査やWISC-V等）を実施できるよう、函館の「あおいそら」等の専門機関との連携を進めます。

【木古内町の現状】

特別支援学級等での個別支援対象児童生徒の割合は、全国平均が4.6%、北海道平均が6.3%であるのに対し、本町では小学校で8%、中学校で18%と高い割合になっています。判定基準を明確化し、真に子ども一人ひとりに適した最適・最善の学びの場を提供できるよう見直しを進めてまいります。

【質疑応答・議論】

委員：

子どもの発達障害や適応性の問題は非常に専門性が高く、経験と知識を持った専門医や専門家の目が絶対に必要な分野です。今回のように専門家が関与し、早期から追跡していく取り組みは大変素晴らしいと思います。

事務局：

おっしゃる通りです。従来は最も近くで見ている保育士の意見を参考にしていましたが、情が入ってしまい判定の客観性が失われる側面もありました。専門医や教育委員会が客観的な視点を持って支援に入ることが不可欠であると考えています。

委員：

集団生活の中でどのような行動・状態が見られた場合に判断を行うのでしょうか。また、最終的な就学先の決定はどのように進められるのですか。

事務局：

専門家等の意見をもとに客観的なエビデンスを揃えた上で、教育委員会職員・学校・保護者と丁寧な面談を行います。保護者の気持ちに寄り添いつつ、お子さんにとっての最適な環境をしっかりと説明し、ご理解をいただいた上で最終決定を行います。

委員：

学習面での理解力に若干の遅れがある子などの場合、通常学級で授業についていけなくなるよりも、特別支援学級で自分のペースに合わせて個別にじっくり学習を進める方が、子ども本人にとっても負担が少なく大きなプラスになりますね。

事務局：

まさにその通りです。現在本町で特別支援学級を利用している児童生徒の多くは、行動上の問題というよりも知的なサポートを必要としているケースです。個別のサポートを行うことで学習の遅れを防ぎ、自己肯定感を保つことができます。中学校では特別支援学級に在籍しながら、部活動や地域活動で他の生徒とともに生き生きと活躍している例も多くあります。

(採決)

議案第1号および第2号について審議した結果、全会一致で承認・可決された。

6. 報告事項

- 報告第1号「北海道ふるさと教育（木古内中学校）について」

事務局：

8月31日（月）午前に木古内中学校において、北方領土・領土問題を題材とした公開授業を開催いたします。

北海道教育庁の「ふるさと教育」事業として認定を受けており、アニメーション映画『ジョバンニの島』の上映や、元島民の方による講話、生徒との意見交換を実施いたします。政治的な主張ではなく、「郷土やふるさとを愛する心」を育むことを主目的としています。3年生の授業として実施するため参観枠に限りがございますが、教育委員の皆様もご都合がつけばぜひご参観ください。

委員：

政治的な偏りが出ないように、配慮しながら故郷を愛する心を育む授業として実施していただきたいですね。

事務局：

その通りです。故郷を想う気持ちを素直に育む機会として実施してまいります。

- 報告第2号「第61回北海道市町村教育委員会研究大会について」

教育長：

7月16日に札幌市で開催された研修会についてご報告いたします。午前中は北海道教育大学の田中教授による「AI時代を迎えるためのマインドセット」と題した講演があり、午後からは行政説明や他自治体（色丹村、赤井川村等）の事例発表が行われました。

【意見交換】

委員：

講演のテーマであった教員のマインドセットについてですが、大学の教員養成課程での指導や、現場の教員に次々と追加される業務量・学習指導要領の負担を考える

と、現場だけにマインドセットを求めるのは少し無理があるのではないかと感じました。

委員：

学習指導要領の改定などで新しい教育内容が増える一方で、教員の働き方改革や時間短縮が叫ばれており、現場は矛盾と負担を抱えています。教育委員会として現場の教員が働きやすい環境をどう整えていくかが重要な課題です。

教育長：

貴重なご意見ありがとうございます。他自治体では授業時間を45分から40分に短縮する試みなども行われています。学校現場の負担軽減と質の高い教育をどう両立するか、今後も協議・研究を重ねてまいります。

- 報告第3号「各種事業の推進について」

事務局：

社会教育事業および学校教育事業の予定について説明いたします。

1. 地引き網&デジタルゲームラリー（無名塾）：8月7日実施。姉妹校である朝陽第一小学校からの訪問児童と、無名塾生が参加。午前に地引き網体験、午後に公民館でMicro:bit（マイクロビット）を用いたゲームを行います。
 2. ゲームメーカー（中学生対象）：8月6日・7日実施。木古内町出身の函館高専生（岸さん）らを講師に招き、プログラミング学習と翌日の小学生向けゲームの運営準備を行います。
 3. 絵本の英語読み聞かせ：8月26日実施。ALTのメアリー先生による英語での読み聞かせ（『ウサギとカメ』等）を行います。
 4. 大人の英会話教室（公民館講座）：8月4日、18日、25日に開催。町民（15歳以上）を対象にモーニングクラス（午前）とイブニングクラス（夜間）を開講します（参加費無料）。
 5. イングリッシュキャンプ：8月19日開催。ALT企画による小3～中3対象の町内散策型謎解きイベント。英語を使いながら町内を周遊します。フィールドワークで来られている成城大学の学生も参加予定です。
-

6. その他

(1) 次回会議の日程について

- 令和8年 第8回 教育委員会
- 日時：令和8年8月27日（木）9:30 ～
- 場所：木古内小学校

事務局：

- 次回定例教育委員会は 8月27日（木）、会場は木古内小学校にて開催いたします。併せて授業参観および学校給食の試食会を予定しております。

(2) 学習支援員およびALTの配置状況について

教育長：

- 学習支援員： 中学校で欠員が生じておりましたが、公募により新たに非常勤で2名を確保・配置いたしました。
- ALT： 欠員となっている1名に加え現在妊娠のため公民館勤務となっているメアリー先生に代わり、2学期冒頭より新たに2名ALTを配置できるよう準備を進めております。

委員：

教育委員会が予算をかけ、英会話や各種社会教育事業、特別支援教育の充実など素晴らしい取り組みを行っていることが、町民に十分伝わっていないと感じます。

「このような教育目標を掲げ、成果が出ている」というプロセスや費用対効果を、広報紙やWeb等で分かりやすく発信・PRしていくべきです。

西山教育長：

大変重要なご指摘です。町民の皆様に教育委員会の活動や子どもたちの成長がしっかり伝わるよう、広報活動の強化・見直しに努めてまいります。

7. 閉会

【教育長】全体を通してその他に何かございますか。特になければ、以上で本日の定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

署名委員 古城 美佳